

セキュリティ

マルウェアでないのはどれか。第 37 回 ME2 種

1. ワーム
2. ウイルス
3. スパイウェア
4. トロイの木馬
5. スпамメール

ファイルを勝手に暗号化したり，システムを起動できなくしたりして，復元するための身代金を要求するマルウェアはどれか。第 40 回 ME2 種

1. スパイウェア
2. ボット
3. ランサムウェア
4. スパイメール
5. キーロガー

差出人を偽装した電子メールを送って不正なウェブサイトへ誘導するなどして，インターネットユーザからアカウント情報やクレジットカード番号などの個人情報を詐取する行為を何と呼ぶか。第 41 回 ME2 種

1. フィッシング
2. スパイウェア
3. ランサムウェア
4. DOS 攻撃
5. 標的型攻撃

セキュリティの向上に直接関係するのはどれか。第 27 回臨床工学技士国家試験

- a. オープンソース
- b. スパイウェア
- c. 電子署名
- d. 公開鍵
- e. プロキシサーバ

1 a, b, c 2 a, b, e 3 a, d, e 4 b, c, d 5 c, d, e

使用しているパソコンで、コンピュータウイルス等の不正なソフトウェアが動作していると考えられる。使用しているパソコンの初動対応として最も適切なのはどれか。第 29 回臨床工学技士国家試験

1. パスワードを変更する。
2. ネットワークから切断する。
3. USB メモリにファイルをバックアップする。
4. システム・ソフトウェアのアップデートを行う。
5. ウイルス対策ソフトを用いてシステムのスキャンを行う。

インターネットからの不正アクセスを防ぐために、インターネットとローカルネットワーク間に設置する仕組みはどれか。第 30 回臨床工学技士国家試験

1. スイッチングハブ
2. リピータ
3. ウィルスチェッカ
4. ファイアウォール
5. 電子認証システム

標的型攻撃メールによる被害を防ぐ方策として効果がないのはどれか。第 30 回臨床工学技士国家試験

1. 電子署名の利用
2. Web メールの利用
3. 利用者の教育・訓練
4. ウィルス対策ソフトの導入
5. ソフトウェアアップデートの実行

ランサムウェア対策として効果がないのはどれか。第 31 回臨床工学技士国家試験

1. ファイルはすべて暗号化して保存する。
2. 不審な添付ファイルのついたメールは削除する。
3. ウィルス対策ソフトの定義ファイルを更新する。
4. OS を更新し脆弱性を解消する。
5. 重要なファイルは定期的にバックアップしておく。

外部からの不正アクセスを防ぐ目的で、インターネットと内部のネットワークやシステムの間にく仕組みはどれか。第 32 回臨床工学技士国家試験

1. スイッチングハブ
2. ウイルスチェッカ
3. ファイアウォール
4. SSL (Secure Sockets Layer)
5. スパイウェア

正しいのはどれか。第 33 回臨床工学技士国家試験

1. データのバックアップは情報漏洩の防止に役立つ。
2. 共通四暗号方式では四が漏れてもセキュリティ上問題ない。
3. 情報セキュリティにおける完全性とは、情報が正確で改ざんされていないことをいう。
4. オープンソースソフトウェアは、セキュリティ確保のためには使用すべきではない。
5. 院内ネットワークにファイアウォールが導入されていれば、個人の PC を自由に接続してよい。